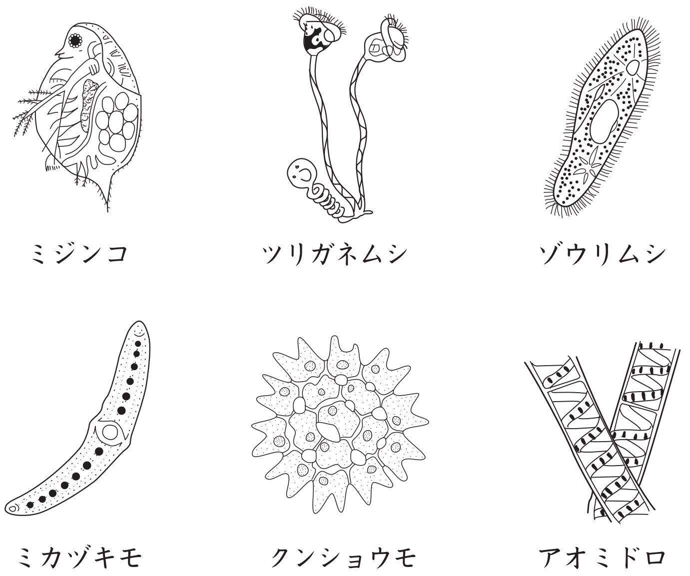
2020年度 教科書改訂 ● 魚が食べているもの

1　メダカの食べ物

池の水などには，目に見えないほどの小さな生き物がたくさんいる。メダカなどの魚は，このような生き物を食べている。➡❶

❶水の中の小さな生き物



(1)　自分で動いて，えさを食べる生き物

例：ミジンコ，ツリガネムシ，ゾウリムシなど

(2)　緑色をしており，植物のように，日光を受けて養分（でんぷん）をつくる生き物

例：ミカヅキモ，クンショウモ，アオミドロなど

(3)　池や川だけでなく，海の中にも小さな生き物がいる。

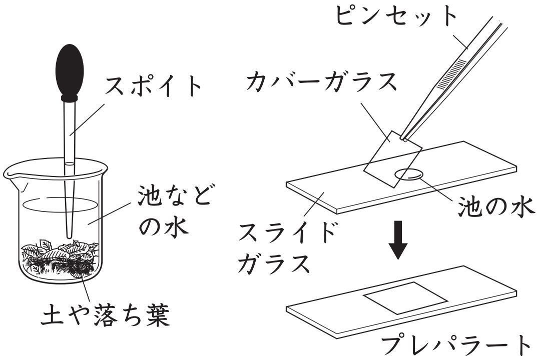
(4)　からだの大きさは，生き物によってちがう。けんび鏡の観察では，実際(じっさい)の大きさが大きい生き物は，低い倍率(ばいりつ)で観察できる。

2　小さな生き物の観察（プレパラートのつくり方）➡❷

⑴　調べようとする池などの水を，土などといっしょにビーカーにとり，静かに置いておく。

⑵　土や落ち葉に近いところの水をスポイトでとり，スライドガラスに１～２てき落とす。

❷池の水の観察



⑶　空気のあわができないように注意して，カバーガラスをかける。

⑷　水がはみ出したら，ろ紙ですいとる。

3　けんび鏡の使い方

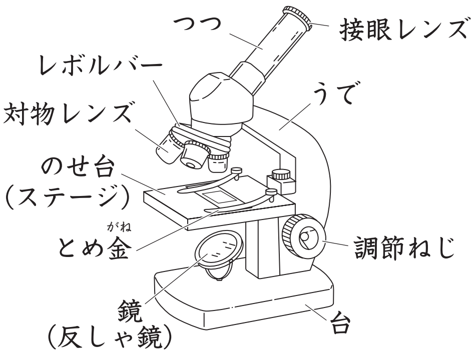
(1)　使い方

①日光が直接(ちょくせつ)当たらない明るいところに置く。

②いちばん低い倍率の対物レンズをつける。

③接眼(せつがん)レンズをのぞきながら，鏡（反しゃ鏡）で全体が一様に明るくなるようにする。

▶けんび鏡



④のせ台（ステージ）に，プレパラート（観察したい物）を置く。

⑤横から見ながら調節ねじを回し，対物レンズとプレパラートをできるだけ近づける。

⑥接眼レンズをのぞき，調節ねじを回して対物レンズとプレパラートをはなしながら，ピントを合わせる。

(2)　けんび鏡の倍率

「倍率＝接眼レンズの倍率×対物レンズの倍率」で，40～600倍にかく大して観察できる。

(3)　見え方

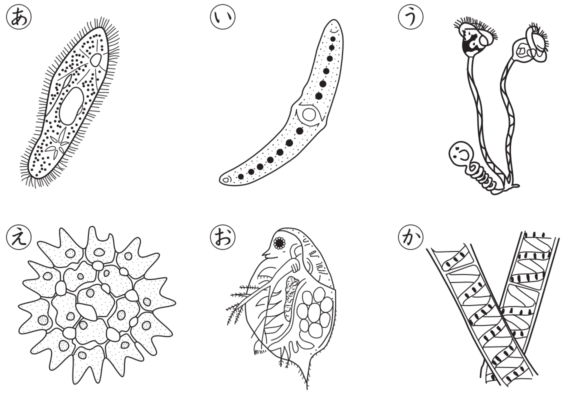
けんび鏡で見ると，上下左右が逆(ぎゃく)に見える。そこで，左はしに見える物を，中央に動かしたいときは，プレパラートを左に動かす。

(4)　プレパラートの工夫

プレパラートがかわいたら，カバーガラスとスライドガラスの間にスポイトで水を入れる。

2020年度 教科書対応 ● 魚が食べているもの　確認テスト

問１　下の図は，ある場所の水をけんび鏡で観察したときに見られた生き物を表しています。どのような場所の水ですか。



①　水道の水　②　水たまりの水　③　池の水　④　海の水

問２　(あ)の生き物の名前は何ですか。

①　ミジンコ　②　ゾウリムシ

③　ミカヅキモ　④　クンショウモ

問３　(い)の生き物の名前は何ですか。

①　ミジンコ　②　ゾウリムシ

③　ミカヅキモ　④　クンショウモ

問４　(お)の生き物の名前は何ですか。

①　ミジンコ　②　ゾウリムシ

③　ミカヅキモ　④　クンショウモ

問５　(あ)～(え)のうち，日光を受けて養分をつくる生き物はどれですか。

①　(あ)と(い)　②　(あ)と(う)　③　(い)と(う)　④　(い)と(え)

2020年度 教科書改訂 ● 魚が食べているもの　確認テスト

問１　③

問２　②

問３　③

問４　①

問５　④